

慶徳小学校 わくわく節水実践コンクール実践報告書

1 節水に関する宣言項目

- ・花の水かけは、雨水貯水タンクに集めた水をペットボトルに入れて利用します。
- ・水道の蛇口に節水コマを設置しています。
- ・水道の水は、必要な量を使うようにし、節約を心がけています。
- ・習字の筆や硯を後片付けするときには、ペットボトルの水を使って節水に心がけています。
- ・水道の蛇口は、使用后きちんと止めるよう環境新聞や子ども達の委員会活動で呼びかけています。
- ・節水に関する出前授業の学習をして、その様子を環境新聞に掲載しています。
- ・節水標語を募集して、手洗い場に子どもたちの作品を掲示します。

2 取組の方法

(1) 節水意識を高めるよびかけの実施。(出前授業や環境新聞)

節水の出前授業 総合学習の時間に、水について学びました。実験したことで改めて「水の大切さ」を考えることができました。



環境新聞の発行



(2) 児童ボランティアによる草花への水かけには、「雨水君」の雨水を利用する。



雨水君の利用 「みどりタイム」の時間を設定し、全校児童で花を育てています。

(3) 習字の筆や硯を後片付け時の節水。



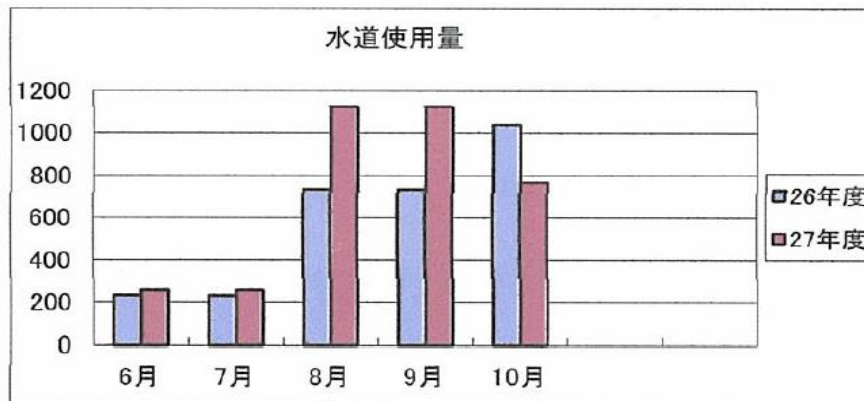
(4) 水道の使用後きちんと止めるよう呼びかけ、子どもたちの標語を掲示する。



3 実践の記録 (参考資料)

水道使用量の比較 (単位 立方メートル)

	6月	7月	8月	9月	10月	計
26年度	231	230	735	734	1037	2967
27年度	257	257	1125	1125	769	3533



・平成27年度の使用量が増えているのは、中水道施設の故障によるものと思われる。現在は改修し、使用量は以前より減っている。

4 実践の反省と課題

(1) 成果

・花の水やりに雨水を利用する習慣化が図られている。

- ・水道の使用量は、節水を心がけることによって節約することができ、日頃からの継続した取り組みの重要性を再認識できた。

(2) 課題

- ・全校児童が自分たちの生活を振り返ったり、よりよい方策を話し合ったりする機会と場を大切にしながら、さらに意識を高める取り組みを続けていきたい。
- ・児童への働きかけの工夫により、家庭・地域でも話題にしてみよう。
- ・水の保全活動と道徳、各教科、総合的な学習の時間等との関連を定期的に見直し、計画的・継続的に学習することができるようにしていきたい。